

化学工業日報

2011年(平成23年)

3月24日 木曜日

第22063号 (日刊、土・日・祝日除く)

成和化成

水溶液中で高安定

化粧品向け ビタミンC誘導體

成和化成(東大阪市)は、水溶液中での安定性を高めたビタミンC誘導體を開発した。ビタミンCの水酸基をグリセリンでブロックし、安定性の向上に成功。水溶性のため、化粧品に対して容易

に配合できる。正常ヒト皮膚繊維芽細胞のコラーゲン産生を促し、メラニン生成を抑制する効果もある。化粧品メーカーなど顧客への提案活動を始めており、有用性を訴求して拡販する。今後も新

規ビタミンC誘導體の開発を目指した研究を進めていく方針。同社が開発した安定型ビタミンC誘導體グリセリルアスコルビン酸は、グリセリン1分子付加タイプのアミトース2G

A」と、2分子付加タイプの「同DGA」の2種類がある。ビタミンC水酸基のブロック部分にグリセリンを使うことにより、低分子のビタミンC誘導體に構造設計している。アミトース2GAは高純度の結晶性ビタミンC誘導體で、水に溶解しても着色しにくい。幅広いpH領域で安定で、多様な化粧品に対して配合できる。使用感にも優れ、

べたつきがなく同時にしっとりとした感触を与えることができ。2分子のグリセリンを結合してビタミンCの強いイオン性を消去し、ノニオン化したアミトースDGAは、乳化物への配合を容易にしている。ノニオン性ビタミンC誘導體であるため、ジェル状製剤にも配合でき、ジェル状の化粧水といったスキンケア化粧品の開発に貢献する。